

躍進する北部九州の自動車産業

過去最高を更新 11年度

九州にはトヨタ自動車九州(福岡県宮若市)、日産自動車九州(同市)、日産車体九州(同、ダイハツ九州(大分県中津市))と4自動車メーカーの工場が立地、生産台数は全国の約1割を占める。九州経済産業局がまとめた2011年4-11月の生産台数は81万7582台(前年同期は75万6506台)だった。東日本大震災により、4-5月の生産低迷が影響したにもかかわらず、前年同期比で増加した。

足元の生産は震災による減産の挽回や、新車種の生産開始などで各社高水準だ。11年度通期の生産見通しはトヨタ九州が30万台、日産自動車九州50万台以上、日産車体九州6万台、ダイハツ九州38万台という状況。合計は120万台を超え、過去最高を更新する可能性が高い。

日産九州が始動



分社化直前に日産九州工場を訪れたコーン社長に社員が決意表明

11年10月、旧日産自動車九州工場(福岡県北九州市)が分社化、日産自動車九州として事業を開始した。日産九州は日産にとって国内最大の生産拠点で、年間50万台規模の生産を目指す。同社は地元からの部品調達をさらに推進する方針。地域に密着した会社として、自動車産業の一層の発展に貢献する期待が高まる。

日産九州工場は75年に九州初の自動車工場として稼働した。その後トヨタ九州など三つの自動車

生産150万台へ

自動車生産拠点として成長を続ける福岡県を中心とする北部九州地域。完成車メーカー4社の工場は、いずれも生産効率が高い最新鋭の工場で、生産能力は年間154万台を誇る。

福岡県は同地域の自動車産業を支援、活性化させる目的で、06年8月に「北部九州自動車150万台生産拠点推進構想」を立ち上げ、産学官一体となった取り組みをスタートした。さらに10年4月には、生産150万台に合わせて「地元調達率70%」「自動車先端人材集積拠点」「自動車先端技術開発」「社会実証拠点」の四つの目標を掲げた。その上で構想を「北部九州自動車150万台先進

人材集積の実現のためには設計開発技術者の育成が重要だが、金型やメッキなど基盤技術者の育成も必要になる。これまでに養成した三次元設計、ユニット部品設計、コンピュータ利用エンジニアリング(CAE)などの設計開発技術者は約400人、金型、メッキ、ゴム、プラスチックなど基盤技術者は約2800人になる。また工業高校生のインターンシップ(就業体験や大学生向け講座も開



実験は買い物など日常生活で活用してもらった

11年4月には企業ニーズに基づいた教育を行う自動車先端人材育成センターを県庁内に設置し、取り組みを強化している。11年4月には企業ニーズに基づいた教育を行う自動車先端人材育成センターを県庁内に設置し、取り組みを強化している。

技術開発では大学などと連携した地域企業による研究開発を推進。06年度以降、国などの助成事業を活用した開発プロジェクトは33件、総事業費

は28億円に達する。その中で、11年度は経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業などで13件を支援中だ。

社会実証では2人乗り小型車が高齢者に受け入れられるかどうかを検証する実証実験を、11年10月から11月に実施した。県は36道府県の知事連合



2009年に開催された福岡モーターショー

クルマと夢見るあしたの暮らし

福岡県

担当し、設計などの川上部門はすべてトヨタが担当してきた。当面、マイナーチェンジ時のアップグレードの設計、開発を行う予定だ。

R&Dセンター発足に

北米や欧州など海外に輸出しており、円高の影響は非常に大きい。同社の児玉幸信社長は「いかに低コストで生産する体制を構築するか」を最重要課題と挙げる。

日産車体九州との連携も進めていく。日産九州は日産車体に、アップパターボディーなど大型フレッシュ品やバンパーなど大型射出成形品を供給する。また部品調達については10年度から、サプライヤーと共同で原価低減活動を進める。

日産車体九州は11年度から同様の活動始めた。日産九州が訪問したサプライヤーが、日産車体九州の部品を生産している。またトヨタ工場(北九州市)の部品を生産している。一部は、これまでのトヨタの愛知県内の工場から調達してきたが、内製に切り替えた。

トヨタ自動車の高級ブランド「レクサス」を生産するトヨタ九州。操業開始から20年目の節目となる11年に、設計・開発の部署となる「R&Dセンター」を立ち上げた。同社は従来生産のみを

を組織して「高齢者にやさしい自動車開発プロジェクト」を推進中。また同連合は高齢者による事故の分析や、全国の高齢者1万人へのアンケートに基づいた2人乗り小型自動車のコンセプトを自動車メーカーなどに提案している。

「R&Dセンター」が発足

輸送コスト削減とリードタイム短縮が狙いで、効率的生産体制の構築につなげる。トヨタの生産設備を北九州市に移すため、大きな投資負担が生じている。また「トヨタ九州の生産台数に合わせたライン」になり、現在より生産

組立工場が立地し「カーアイデア九州」と呼ばれる産業の礎を築いた。敷地面積は236万平方メートルと広大で、09年末には日産車体が新たな車両組立工場を完成し、日産車体九州として動き出した。

「国内生産100万台を維持するためにも、皆さんのサポートが欠かせない」。カルロス・ゴーン社長は分社化直前の11年9月に九州工場を訪れ、社員に決意を述べた。日産九州は今後、生産に特化する会社となる。社員約3700人は転籍。土地や設備は日産から賃借し、エンジンははじめとする部品は日産が支給する。

組立工場が立地し「カーアイデア九州」と呼ばれる産業の礎を築いた。敷地面積は236万平方メートルと広大で、09年末には日産車体が新たな車両組立工場を完成し、日産車体九州として動き出した。

「国内生産100万台を維持するためにも、皆さんのサポートが欠かせない」。カルロス・ゴーン社長は分社化直前の11年9月に九州工場を訪れ、社員に決意を述べた。日産九州は今後、生産に特化する会社となる。社員約3700人は転籍。土地や設備は日産から賃借し、エンジンははじめとする部品は日産が支給する。

組立工場が立地し「カーアイデア九州」と呼ばれる産業の礎を築いた。敷地面積は236万平方メートルと広大で、09年末には日産車体が新たな車両組立工場を完成し、日産車体九州として動き出した。

「国内生産100万台を維持するためにも、皆さんのサポートが欠かせない」。カルロス・ゴーン社長は分社化直前の11年9月に九州工場を訪れ、社員に決意を述べた。日産九州は今後、生産に特化する会社となる。社員約3700人は転籍。土地や設備は日産から賃借し、エンジンははじめとする部品は日産が支給する。

組立工場が立地し「カーアイデア九州」と呼ばれる産業の礎を築いた。敷地面積は236万平方メートルと広大で、09年末には日産車体が新たな車両組立工場を完成し、日産車体九州として動き出した。

「国内生産100万台を維持するためにも、皆さんのサポートが欠かせない」。カルロス・ゴーン社長は分社化直前の11年9月に九州工場を訪れ、社員に決意を述べた。日産九州は今後、生産に特化する会社となる。社員約3700人は転籍。土地や設備は日産から賃借し、エンジンははじめとする部品は日産が支給する。



トヨタ九州は設計・開発部門を発足



日産車体九州は大型のSUVなどを生産

コストを削減できる」という。トヨタ九州の生産台数は11年3月期が27万台、12年3月期は約30万台の見通し。内製する部品は生産している。だが、リーマン・ショックに伴う減産で、09年から1ラインを操業停止しており、今後の生産拡大が期待される。

福岡モーターショー2012 自動車産業フォーラム

1月28日(土)13:30~(12:30開場/16:00終了予定)

福岡国際会議場・3Fメインホール(福岡市博多区石城町2-1)

入場無料! 先着1000人

参加者全員に福岡モーターショー当日限定・無料入場証をプレゼント(フォーラム終了時に会場内で配布予定)

申し込み方法

参加希望の方は、①氏名(フリガナ) ②住所 ③電話番号 ④同行する者がある場合、その人数および全員の氏名を明記し、はがき又はファクス、メールにてお申し込み下さい。

福岡県自動車産業振興室

申し込み 問い合わせ

TEL 092-8577 福岡市博多区東公園7-7

TEL 092-643-3447 FAX 092-643-3443

Eメール jidousha@pref.fukuoka.lg.jp

インターネットはこちらから

自動車産業フォーラム参加申し込み 検索

北部九州自動車150万台未来展

1月27日(金)~30日(月)

9:30~18:00(但し、30日は17:00まで)

福岡国際会議場・2F多目的ホール

■ 北部九州自動車150万台先進生産拠点推進構想等の紹介

■ 北部九州の自動車メーカー(日産、トヨタ、ダイハツ)の製造車両展示

■ 水素燃料電池自動車、水素スクーター等の展示

■ 高齢者にやさしい自動車開発推進知事連合の取組の紹介

九州学生製作車両展

■ 九州の大学、高等、専門学校、県立工業高校が製作した車両を展示(全16台)

【博多駅より】西鉄バス「博多駅センタービル前(博多駅前)」58番 博多駅前センタービル前(博多駅前)下車 徒歩5分

【天神より】西鉄バス「ソフィア前(天神)」2番 博多駅前センタービル前(博多駅前)下車 徒歩5分

【地下鉄博多駅より】徒歩約15分

*混雑が予想されるため、公共交通機関をご利用ください。